

<p>校訓 「誠実で信頼される人に」</p>	<p>めざす学校像 ・夢を実現させる学校 ・豊かな人間性を培う学校 ・健康な心身を育む文武両道の進学校</p>		
<p>教育目標 高校生として常に明確な目標を持ち、真剣に事に当たる習慣をつけ、豊かな人間性、強い気力、体力、幅広い知性を身につける。</p>			
評価項目	重点目標	具体的取り組み	評価及び次年度への課題
<p>〈総務部〉 「協働・組織」 意識の構築と 組織改革</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の充実 ・ホームページの充実 ・PTA活動の活発化 ・姉妹校交流の活発化 ・語学研修の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した備品の入れ替え ・ホームページにタイムリーな記事を掲載 ・ホームページを用いたPTA活動の宣伝 ・1月の姉妹校来訪に向けた具体的な計画・立案、ホストファミリーの計画的募集 ・語学研修参加者の計画的募集 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒用机・椅子を中心に備品の入れ替えを行った。 ・ホームページ記事の更新を定期的に行うことができたが、PTA活動の宣伝は思ったように実行できなかった。 ・姉妹校交流に対しさまざまな工夫を試みたが、ホストファミリーの募集に苦しんだ。 ・語学研修は物価上昇による費用の高騰の割には参加者が集まった。内容面も含め、さらなる改善を目指したい。
評価項目	重点目標	具体的取り組み	評価及び次年度への課題
<p>〈教務部〉 学習指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学力向上 ・授業内容の満足度の向上を図る教育改革 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタディーサプリ到達度テストの結果を利用した課題の個別配信及び単元別テストを活用した学習・理解度の確認と既習内容の学び直し支援 ・年4回の公開授業により、各教職員の授業改善と指導力の向上を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタディサプリによる課題の配信の増加など、活用は進んでいるが、ネット環境が十分でなく、計画通りに進んでいないところも見られる。 ・公開授業については準備段階にもう少し工夫が必要であった。改善の余地はあるが、授業力の向上には寄与した。
評価項目	重点目標	具体的取り組み	評価及び次年度への課題
<p>〈生活指導部〉 生活指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめのある雰囲気の新出と学校生活の安全の保障 ・風紀委員会の活動の活発化 ・いじめの撲滅 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中・ST時の校内巡回と、配慮すべき生徒の情報共有 ・挨拶身だしなみ重点指導週間における正門での挨拶運動と定期考査ごとの風紀委員会の実施 ・保護者・担任・学年主任・保健室・スクールカウンセラー・管理職との素早い情報共有と組織的対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業規律に問題は無く、比較的落ち着いていた。 ・風紀委員は、与えられた仕事を責任を持って行うことができた。日常の学校生活においても活躍の場を設けることが今後の課題である。 ・いじめに対し組織的に対処することができた。ケースに応じた柔軟な指導方法を更に構築する必要がある。

評価項目	重点目標	具体的取り組み	評価及び次年度への課題
〈特別活動部〉 特別活動 (教科外活動)	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会の育成と、行事に積極的に参加する姿勢の育成 ・クラス運営円滑化のための行事の活用 ・部費の有効な支出 ・部活動ガイドラインの周知徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会と生徒会顧問が連携して主体的に行事を主導することにより、生徒会の育成を図る。 ・行事では立案時にテーマを明確にして、方向性が見えるようにする。また、準備期間の巡回を通じて的確な指導を行う。 ・生徒会予算執行依頼書の把握を行い、適正に支出されているかを特別活動部が主体的に管理する。 ・顧問会議を通じ部活動ガイドライン遵守の協力の要請をするとともに、特別活動部が活動状況を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の生徒会活動は、ボランティア活動中心であった。視野を広げつつ本校の生徒の代表としてふさわしい活動に発展させたい。 ・学校行事はクラス経営に大きな影響を与えるものである。各種行事が担任によるクラス指導の一助となる立案計画を一層心がけたい。 ・多人数で試合に出場する部や限られた部に偏った支出にならないよう生徒全体のための支出に留意した。 ・ガイドラインに沿った指導を行っていただき、全般的に大変活気のある活動が展開されている。本校の方針の根幹でもある挨拶指導を積極的に行い、全校生徒をけん引する存在を目指す。
評価項目	重点目標	具体的取り組み	評価及び次年度への課題
〈保健部〉 学校保健と教育相談	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談課と他の部署との連絡の緊密化を図る ・教育活動としての清掃活動への意識を高める具体案を実施する ・健康維持に対する意識を生徒間で向上させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセラーとの情報の共有化の推進 ・清掃点検の実施 ・保健厚生委員の活動の活発化(扇風機設置、WBGT計測など)と、老朽化した備品の入れ替え 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任や生活指導部と連絡を密に取り、教育相談を生徒指導の重要な柱とすることができた。 ・廊下の窓の清掃道具を購入し、各クラスに配布し清掃徹底を促し成果を上げている。 ・熱中症対策としてWBGT計の購入、部活動練習時の計測の報告などを行い、効果的な対策を実施できた。
評価項目	重点目標	具体的取り組み	評価及び次年度への課題
〈進路指導部〉 進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・進路シラバスを再構築し、進学コースからの一般受験者を増やす ・学年と連携し、国際コース、進学理系コースからの国公立合格者を出す ・各教科と連携し、受験学力向上を実現する ・国公立大学合格者30名以上を継続する 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路希望調査を計画的に実施し、生徒の進路意識を正確に把握する ・学年全体の進路HRを実施し、生徒の進路意識を高める ・1年選抜クラスの河合塾模擬試験の受験を必須とし、受験意識を早期育成する ・国際コース、進学理系コースの模擬試験の成績を担当と進路 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定校推薦選考過程の見直しにより、資料はより正確なものとなったが、新カリキュラムの影響により出願資格に届かない生徒が増え、指定校推薦の枠が埋まらない大学が増えた。 ・保護者会前に各学年担任とのミーティングを開催し、受験校決定の目線合わせをすることができた。

		部で検討する	・1年生選抜クラスの河合塾模擬試験受験、夏休みの補習期間の延長、1年生全体への学年進路HRなど、1年生の学年団のお蔭で、進路意識の高まりが見られた。
評価項目	重点目標	具体的取り組み	評価及び次年度への課題
〈入試広報部〉 生徒募集	<ul style="list-style-type: none"> ・入学者の具体的目標数の設定と、その達成のための生徒募集計画の作成 ・生徒・保護者・中学校教員への周知を図る幅広い広報活動の実施 ・生徒募集は全職員で行うという共通理解と、職員の意識高揚の喚起 ・全校体制での見学会・説明会に向けて、具体的な計画の立案 ・生徒・保護者の関心を高める入学案内、チラシ、動画の作成 ・入学案内の早期完成と、有効活用 ・進学塾への周知の徹底と、関係塾に焦点を絞った広報活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区ごと、各コースごとの入学目標数の設定 ・推薦入試における成績上位生徒の入学増加を目指す ・学習合宿所の活用の情宣と、受験生や中学校教員が見学（利用）する機会の設定 ・見学会・説明会への積極的な参加の促進 ・中学校教員の本校の特色や学習環境・進学率のよさの周知度向上 ・見学会・説明会を全教職員の共通理解のもと、全員で推進 ・入学案内の改善と早期完成 ・情報の一元化、効率的有効的活用とセキュリティの強化 ・広報誌、新聞の活用による進学塾へのアピールと情宣、また進学塾との情報交換 ・塾対象説明会における進路指導部長との連携による進学実績のアピール 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校進路指導主事に加え学級担任にも説明資料を配付した。 ・学校見学会参加者は減少した。原因は、実施時期が中学校の定期テスト直前、修学旅行前後の日程と重なったこと。8月は、近隣高校とのバッティング、尾張旭市全中学校の出校日と重なったから。 ・8月の学校見学会において、Super文理クラス、国際言語クラス説明会を実施した。担当教員から、大学進学実績、英語力向上等について具体的に説明した。両クラスとも定員枠一杯の参加者があった。 ・中学校主催の進路講演会に、過去最高の依頼を受け、中学生・保護者に直接、本校の良さを説明することができた。 ・塾対象の説明会に進路指導部長からSuper文理クラスの説明を行い、参加者から好評を得た。
評価項目	重点目標	具体的取り組み	評価及び次年度への課題
〈第1学年〉 学年指導	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもった計画的な経営に努め、生活習慣や学習習慣を身につけ、安全・安心で落ち着いた生活を営むため、生徒とのコミュニケーションをしっかりとることに努める ・基本的生活習慣の確立（挨拶、思いやり、協調性、SNS、授業態度、清掃活動等） ・学習習慣の確立（授業 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員から率先してベル着をし、時間を守ることの大切さを意識付けする ・学年主任による教室の見回り ・担任、副担任、コースの垣根を越えて教員同士の連携を図る。また進路指導部とも連携し、有志の勉強会を行う ・1学期のHRで国公立を目指す意義を伝え続け、卒業時の進路を考える機会を多く設ける ・卒業時には成人となるので、基本的には1年生から大人とし 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベル着については定期的に声掛けはしていたので、ある程度は出来たが、まだまだ、徹底はされていない。 ・授業態度に特に大きな問題はない学年であった。 ・学年主導で進路HRを行い、進路意識の高揚を図った。今後生徒のより具体的な行動に結び付けたい。 ・上記の進路HRにより、積極的に大学を調べる生徒も何名か出たので意義はあったと思う。次年度

	<p>態度、予習、家庭学習、追試ゼロ、定期試験振り返り等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポート体制の充実、リメディアルの充実、ポートフォリオの充実、心の健康の充実 ・各コース (Super、選抜、国際言語、人間スポーツ、進学) のさらなる特色化 	て接する	も継続したい。
評価項目	重点目標	具体的取り組み	評価及び次年度への課題
<p>〈第2学年〉 学年指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生を振り返りつつ2年生における課題を明確にし、見通しをもって計画的な経営に努め、生徒自身が自己理解をする中で意欲を持って生活できるように努める ・基本的生活習慣の定着 (挨拶、思いやり、協調性、SNS、授業態度、清掃活動等) ・学習習慣の確立 (授業態度、予習、家庭学習、追試ゼロ、定期試験振り返り等) ・基礎学力の向上、サポート体制の充実、ポートフォリオの充実、心の健康の充実 ・各コース (各自の進路を意識させた) のさらなる特色化に向けての教員間のコミュニケーションの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・良い思い出ができるよう、積極的に行事に取り組みせる ・勉強、部活動など目標に向かって全力で取り組ませる ・落ち着いた雰囲気、環境づくりをしST、HRを充実させる ・学年主任、担任が授業を巡回し落ち着いた環境をつくる ・Superは国公立30を目標に、また難関私大合格を目指す。選抜は国公立20を目標に勉強、部活を両立させる。国際は留学経験を活かし国公立3、難関私大5が目標。進学は下位層の底上げと進学理系国公立2を含めた進路意識向上 ・進路指導部、担任を中心に成績を分析し、向上を図る ・進学は修学旅行での探究活動を深める 	<ul style="list-style-type: none"> ・全コース修学旅行・留学が無事に終了したことが良かったと思う。 ・学習面ではS・選抜クラスは志望校が決まり進路意識は上がってきている。そのほかのクラスはまだ推薦、指定校での受験を考えている傾向にある。一部生徒の授業態度が良くなかったため校内巡回を実施した。 ・進路説明会・ガイダンスを実施したが、来年度の課題は進学クラスの進路意識がどれだけ上げられるかだと思う。理系クラスは1クラスしかないが進路意識は上がってきていると思う。 ・進学修学旅行は中日2日間をタクシー学習で探究活動と平和学習を選択させて実施した。今後の修学旅行のあり方を検討する必要があると思う。
評価項目	重点目標	具体的取り組み	評価及び次年度への課題
<p>〈第3学年〉 学年指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「夢を夢で終わらせない学校」の集大成として、各部と学年が協働意識をもって経営をする。特に、各自の進路目標を 	<ul style="list-style-type: none"> ・明るい挨拶と態度を養う ・ST・HRの重視 ・学習環境の整備 ・通常清掃に主体的に取り組む態度を育成する 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶・五訓については意識の低さを感じる。これらは学校生活全体の基本中の基本と考えている。 ・毎日の朝のSTを大切にし、落ち着いた学級運営を担当とともに実

<p>現するため信頼関係の構築に努める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「五訓」の意味を考え、自律的な生活を目指しながらの目標達成 ・国公立合格者50名を目標とする ・受験を団体戦と捉え、クラスのチームワーク、良好な人間関係の構築 ・生徒と教師との丁寧なコミュニケーション、教師のバックアップの充実 ・生徒を個として捉え、その兆候を注視し、個の特質、資質に応える指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路実現に向けた自発的取り組みの実践 ・個人面談・進路指導・教科指導などによる生徒・教員間の信頼関係を確立する ・進路指導部との連携・協力体制を確立する ・的を射た評価を生徒に伝え、改善点の認識及び向上心を養う ・最高学年であることを意識した言動 ・転・退学者を減らす ・イジメ問題に対する教員の取り組みと早期対応応力を育成する ・キャプテン会議を定期的に開催しリーダーの育成に努める ・学校生活・行事を通じ、クラスを団結させる 	<p>現したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国公立50の目標を掲げスタートしたこの学年。3年生になっても個別対応してきたが、やはり担任 ・生徒ともに指定校や推薦に目が向いている。9月までは徹底して基礎学力を上げる指導を担当・生徒に伝えてきたが浸透しなかった。 ・担任に対し一般受験生徒が全国的に激減する動向などをプレゼンしたが、思うように実現できていない。 ・生活面では卒業式まで比較的安定した学校生活を送ることができた。
--	---	--